

02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl +クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	02002-3A	EC75(アロキシ)	
2	共通	02002-4A	EC100(アロキシ)	
3	共通	02003-1A	Doc75	
4	共通	02005-1A	Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)	
5	共通	02005-2A	Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
6	共通	02006-2A	Pacli w 療法(2週目)(入院)	
7	共通	02006-3A	Pacli w 療法(3週目)(入院)	
8	共通	02006-5A	Pacli w 療法(2週目)(外来)	
9	共通	02006-6A	Pacli w 療法(3週目)(外来)	
10	共通	02006-7A	Pacli w 療法(1週目)(入院)	
11	共通	02006-8A	Pacli w 療法(1週目)(外来)	
12	共通	02007-1A	Pacli w 療法(1週目)(入院)+トラスツズマブ(4mg)	
13	共通	02007-2A	Pacli w 療法(2週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg)	
14	共通	02007-3A	Pacli w 療法(3週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg)	
15	共通	02007-5A	Pacli w 療法(1週目)(外来)+トラスツズマブ(4mg)	H27.7 追加
16	共通	02007-6A	Pacli w 療法(2週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg)	
17	共通	02007-7A	Pacli w 療法(3週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg)	
18	共通	02008-1A	TC 療法	
19	科別(乳腺)	02009-1B	トラスツズマブ(4mg)(初回)	
20	科別(乳腺)	02009-2B	トラスツズマブ(2mg)(2q以降)	
21	科別(乳腺)	02010-1B	トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)	
22	科別(乳腺)	02010-2B	トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
23	科別(乳腺)	02011-1B	アブラキサン(3w)(乳)	
24	科別(乳腺)	02012-1B	エリブリン(2投1休)	
25	科別(乳腺)	02013-1B	GEM(2投1休)	
26	科別(乳腺)	02015-1B	GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)	
27	科別(乳腺)	02015-2B	GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)	
28	科別(乳腺)	02016-1B	GEM+Pacli(入院用)	
29	科別(乳腺)	02016-2B	GEM+Pacli(外来用)	

02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl +クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“[現在のページを印刷する](#)”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
30	科別(乳腺)	02017-1B	VNR(2投1休)	
31	科別(乳腺)	02019-1B	VNR(2投1休)+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)	
32	科別(乳腺)	02019-2B	VNR(2投1休)+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
33	科別(乳腺)	02020-1B	Avastin(1/2w)+Pacli(3投1休)(入院)	
34	科別(乳腺)	02020-2B	Avastin(1/2w)+Pacli(3投1休)(外来)	
35	科別(乳腺)	02021-1B	CMF(original)(入院用)	
36	科別(乳腺)	02021-2B	CMF(original)(外来用)	
37	科別(乳腺)	02022-1B	CMF(modified)	
38	科別(乳腺)	02023-1B	CPT-11 original(3投2休)	
39	共通	02024-1A	Doc75+ヘルツスマブ+トラスツスマブ(3w)(初回)	
40	共通	02024-2A	Doc75+ヘルツスマブ+トラスツスマブ(3w)(2q以降)	
41	共通	02027-1A	カドサイラ療法	
42	科別(乳腺)	02028-1B	エリブリン+トラスツスマブ療法(8mg)(3w)初回	
43	科別(乳腺)	02028-2B	エリブリン+トラスツスマブ療法(6mg)(3w)2q以降	
44	共通	02029-1A	Doc+CBDCA+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)	
45	共通	02029-2A	Doc+CBDCA+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
46	共通	02030-1A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)(入院)	
47	共通	02030-2A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)(入院)	
48	共通	02030-3A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)(入院)	
49	共通	02030-4A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(2q以降)(1週目)(入院)	
50	共通	02030-5A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)(外来)	
51	共通	02030-6A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)(外来)	
52	共通	02030-7A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)(外来)	
53	共通	02030-8A	ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(2q以降)(1週目)(外来)	
54	共通	02031-1A	dose-denseEC療法	
55	共通	02032-1A	TC+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)	
56	共通	02032-2A	TC+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
57	共通	02033-1A	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(初回)	
58	共通	02033-2A	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(2q以降)	

02002	乳 癌	EC	申請科
			外科

H28.10改訂 H29.10改訂 H30.3改訂 H30.9改訂 H31.1改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	75又は100mg/m ²	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m ²	div.	day1

3週毎

術後補助:4-6クール

再発進行癌:耐性まで or エピルビシン 900mg/m²まで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

15分	day1 メイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注0.75mg 1V デキサート注 6.6mg 1V		
5分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ()mg		
30分	側②生理食塩液 100mL 1B エンドキサン注 ()mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B アプレタント 125mg 化学療法前 アプレタント 80mg day2,3分1朝食後 デカトロン(0.5)8錠分2朝・昼 day2~4 ロゼパム(0.5)2錠分2 day1 夕~day4 ハミン 3錠分3 day1 夕~day4		備 考 【レジメンシステム登録】 02002-1A—EC75 ・EPI 75mg/m ² 02002-2A—EC100 ・EPI 100mg/m ² 02002-3A EC75(アロキシ) ・EPI 75mg/m ² 02002-4A EC100(アロキシ) ・EPI 100mg/m ² * 02002-3A、4A は H29.10 に追加

02003	乳 癌	Doc75	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.3 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	i. v. (1h以上)	day1
3週毎 耐性になるまで 化療ベット予約:2時間で登録			
Regimen			
30分	day1		
	メイン①生理食塩液 100mL	1B	
	デキサート注 6.6mg	1V	
	グラニセトロン注 1mg	1A	
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL	1B	
	ドセタキセル ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B	
備 考			
【レジメンシステム登録】 02003-1A Doc75			

02005	乳 癌	Doc75+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1 3週毎
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h以上)	day1 3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2時間30分で登録

Regimen

day1		備考
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02005-1A Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02005-2A Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
※		
90分	側①生理食塩液 250mL 1B	
or	トラスツズマブ ()mg	
30分	大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
30分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注 1mg 1A	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B	

02006	乳 癌	Pacli w 療法	申請科
			外科

H22.5 改訂 H30.9 改訂 H31.1 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m ²	div. (1h).	weekly
12 週連続 耐性になるまで			
(外来)化療ベット予約:2 時間で登録			
Regimen			
内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		
	day1		
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		備 考 ※デキサート注 初回 6. 6mg 2回目3. 3mg 3回目以降1. 65mg ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 【レジメンシステム登録】 02006-1A Pacli w(3 投1体)(入院) H31.1 削除 02006-2A Pacli w 療法(2 週目)(入院) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg 02006-3A Pacli w 療法(3 週目)(入院) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-4A Pacli w 療法(3 投1体)(外来) 02006-5A Pacli w 療法(2 週目)(外来) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg 02006-6A Pacli w 療法(3 週目)(外来) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-7A Pacli w 療法(1 週目)(入院) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg 02006-8A Pacli w 療法(1 週目)(外来) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg ・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録 ・(外来)レスタミンは済み処方にて投与
	※デキサート注 ()mg		
	ファモチジン注 20mg 1V		
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B		
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B		

02007

乳 癌

Pacli w 療法+トラスツズマブ

申請科

外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/Kg 2回目以降 2mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※1	day1、8、15、22
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m ²	div. (1h).	day1、8、15

耐性になるまで

(外来)化療ベット予約: day1,8,15 は 2 時間 30 分、day22 は 1 時間で登録

Regimen

内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		
5 分 ※1	メイン①生理食塩液 50mL 1B		<ul style="list-style-type: none"> ・側②生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。(また、トラスツズマブと糖液の混合も回避) ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg
90 分 or 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
5 分	メイン②生理食塩液 50mL 1B ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V		
30 分	側②生理食塩液 50mL 1B		
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
備考	<p>※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>※2 デキサート注 初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg</p>		
			<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02007-1A Pacli w 療法(1 週目)(入院)+トラスツズマブ(4mg) ・1 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90 分、DEX6.6mg</p> <p>02007-2A Pacli w 療法(2 週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg) ・2 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX3.3mg</p> <p>02007-3A Pacli w 療法(3 週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg) ・3 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX1.65mg</p> <p>02007-4A Pacli w 療法(3 投 1 休)+トラスツズマブ(2mg)(入院) ――トラスツズマブ 30 分、DEX: day16.6mg、day8 3.3mg、day151.65mg</p> <p>02007-5A Pacli w 療法(1 週目)(外来)+トラスツズマブ(4mg) ・1 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90 分、DEX6.6mg</p> <p>02007-6A Pacli w 療法(2 週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg) ・2 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX3.3mg</p> <p>02007-7A Pacli w 療法(3 週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg) ・3 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX1.65mg</p> <p>02007-8A Pacli w 療法(3 投 1 休)+トラスツズマブ(2mg)(外来) ――トラスツズマブ 30 分、DEX: day16.6mg、day8 3.3mg、day151.65mg</p> <p>・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録 ・(外来)レスタミンは済み処方にて投与</p>

02008	乳 癌	TC療法	申請科
			外科

H21.8 承認 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	i. v. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m ²	i. v.	day1
3週毎 6回(標準4回)			
			化療ベット予約:2時間で登録
Regimen			
	day1		
30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 2B グラニセトロン注1mg 1A		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg		
15分	側②生理食塩液 100mL 1B エンドキサン ()mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50ml 1B		
備 考			
【レジメンシステム登録】 02008-1A TC療法			

02009	乳 癌	トラスツズマブ	申請科
			外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	weekly(休薬なし)

耐性になるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

Regimen		備考
5分 ※	<p>Weekly day1</p> <p>メイン①生理食塩液50mL 1B</p>	<p>※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg</p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02009-1B トラスツズマブ(4mg)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録</p> <p>02009-2B トラスツズマブ(2mg)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録</p>
90分 or	<p>側①生理食塩液 250mL 1B</p> <p>トラスツズマブ ()mg</p>	
30分	<p>大塚蒸留水 100mL ()mL</p> <p>(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</p>	
全開 (5分)	<p>側②生理食塩液50mL 1B</p>	

02010	乳 癌	トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

平成 23 年 5 月登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
3週毎			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
	day1		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL 1B		備 考 ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k 【レジメンシステム登録】 02010-1B トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02010-2B トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL 1B		

02011	乳癌	アブラキサン(3w) (乳)	申請科
			外科

平成22年11月承認 H23.7月改訂 H30.9改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	260mg/m ²	div(30分)	Day1

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		
30分	側①生理食塩液 () mL ※アブラキサン ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{260\text{mg/m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$		
		備 考	
		<p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。</p> <p>・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 02011-1B アブラキサン(3w) (乳)</p>	

02012	乳癌	エリブリン(2投1休)	申請科
			外科

H23.8 承認、H25.3 改訂(DEX 追加) H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m ²	div(2~5分)	Day1、8

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:30分で登録

Regimen

	day1、8		
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 1V		
5分	側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
【レジメンシステム登録】 02012-1B エリブリン(2投1休) ・投与時間5分で登録			

02013	乳癌	GEM(2投1休)	申請科
			外科

平成 22 年 5 月承認 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m ²	div(30分)	Day1、8 2投1休
2投1休 3週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約:1時間30分で登録			
Regimen			
	day1、8 30分 メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注1mg 1A 30分 側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg 全開 側②生理食塩液 50mL 1B (5分)		
備 考			
【レジメンシステム登録】 02013-1B GEM(2投1休)			

02015	乳癌	GEM(2投1休)+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div 初回 90min以上 2回目以降 30min※	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m ²	div(30分)	Day1、8 2投1休
3週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約: day1 は 2 時間、day8 は 1 時間 30 分で登録			
Regimen			
	day1		day8
5分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B	30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B
90分 or	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg		デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注 1mg 1A
30分	大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解 しています)	30分	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg
30分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注 1mg 1A	全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B
30分	側③5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg	備 考	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
【レジメンシステム登録】			
02015-1B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)			
・初回ケル用 ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録			
02015-2B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)			
・2ケル目以降用 ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録 ・2018年6月委員会にて投与順序変更を承認 GEM→トラスツズマブからトラスツズマブ→GEMへ変更			
備 考			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。			

02016	乳 癌	GEM+Pacli 療法	申請科
			外科

平成22年5月承認、平成26年3月改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	175mg/m ²	div. (180分).	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m ²	div(30分)	Day1、8

耐性になるまで、3 週毎 (外来)化療ベット予約: day1 は 4 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

Regimen

	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服				
	day1				
15 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 3V ファモチジン注20mg 1V	15 分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 1V		
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B	30 分	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg		
180 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg	全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
30 分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg				
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B				
備 考					
<ul style="list-style-type: none"> ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 					
【レジメンシステム登録】					
02016-1B GEM+Pacli (入院用)					
・レスタミンはレジメン内の処方に登録					
02016-2B GEM+Pacli (外来用)					
・レスタミンは済み処方にて投与					

02017	乳 癌	VNR(2 投 1 休)	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ナベルビン (vinorelbine)	25mg/m ²	i.v.	day1, 8
3週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
	day1, 8		
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL ナベルビン ()mg	1B	
30分	側②生理食塩液 250mL デキサート注 6.6mg	1B 2V	
	ポート①生理食塩液 20mL	1本 フラッシュ	
備 考			
・WBC2000 未満の時は投与延期。 【レジメンシステム登録】 02017-1B VNR(2 投 1 休)			

02019	乳 癌	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ	申請科
		(3w)	外科

H23.5 登録 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30 min) ※	Day1
ナベルビン (vinorelbine)	25mg/m ²	i.v.	Day1, 8

3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約: day1 は 1 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

Regimen

day1		day8	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B
※		5 分	側①生理食塩液 50mL 1B
90 分	側①生理食塩液 250mL 1B		ナベルビン ()mg
or	トラスツズマブ ()mg	30 分	側②生理食塩液 250mL 1B
30 分	大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		デキサート注 6.6mg 2V
			ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ
備 考			
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B ナベルビン ()mg	【レジメンシステム登録】 02019-1B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・初回クール用 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02019-2B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・2クール目以降用 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録	
30 分	側③生理食塩液 250mL 1B デキサート注 6.6mg 2V		
	ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ		
備 考			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。			

02020	乳 癌	Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)	申請科
			外科

H23.11 承認 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel) アバスタチン (Bevacizumab)	90mg/m ² 10mg/kg	div. (1h). div.(初回 90 分、2 回 目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)	day1、8、15 3投1休 day1、15
4週毎 耐性になるまで (外来)化療ベット予約:day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録			
Regimen			
day1、15		day8	
内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服	内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B ※1 <u>デキサート注</u> ()mg ファモチジン注 20mg 1V	5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B ※1 <u>デキサート注</u> ()mg ファモチジン注 20mg 1V
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	30分	側①生理食塩液 50mL 1B
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg	60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B
※2		備 考	
90分	側④生理食塩液 100mL 1B	※1 <u>デキサート注</u> 1週目6. 6mg、2週目3. 3mg、3週目1. 65mg	
60分	アバスタチン ()mg	※2 アバスタチンの投与時間;初回は 90 分かけて 点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。	
30分		・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。 ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 02020-1B Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)(入院) ・アバスタチン投与時間 day1・15 とともに 90 分で登録 ・レスタミンはレジメン内の処方に登録 02020-2B Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)(外来) ・アバスタチン投与時間 day1・15 とともに 90 分で登録 ・レスタミンは済み処方にて投与	

02021	乳 癌	CMF (original)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	100mg/body	p. o.	day1~14
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m ²	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m ²	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

(外来)化療ベット予約:30分で登録

Regimen

内服	day1~14			
	エンドキサン錠(50) 2錠 分2朝・夕食後 14日分			
	day1, 8			
	全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL メソトレキセート ()mg	1B		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ()mg	1B		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		
備 考				
【レジメンシステム登録】				
02021-1B CMF(original)(入院用) ・エンドキサンはレジメン内の処方に登録				
02021-2B CMF(original)(外来用) ・エンドキサンは実施日に処方オーダー				

02022	乳 癌	CMF (modified)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m ²	i. v.	day1, 8
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m ²	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m ²	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

化療ベット予約:1時間 30分で登録

Regimen

	day1, 8			
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL グラニセトロン注1mg	1B 1A		
20分	側①生理食塩液 50mL メソトレキセート ()mg	1B		
30分	側②生理食塩液 50mL エンドキサン注 ()mg	1B		
			備 考	
20分	側③生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ()mg	1B	【レジメンシステム登録】 02022-1B CMF(modified)	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL	1B		

02023	乳 癌	CPT-11 original(3投2休)	申請科
			外科

H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	80~100mg/m ²	i. v.	day1・8・15 3投2休
3投2休 5週間毎 耐性になるまで			
化療ベット予約: 2時間 30分で登録			
Regimen			
30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注1mg 1A		
90分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩 ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
【レジメンシステム登録】 02023-1B CPT-11 original(3投2休) ・CPT-11 100mg/m ² で入力登録			

02024	乳 癌	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ (3w)	申請科
			外科

H25.10 登録 H27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R2. 6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2回目以降30min)※	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min)※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h以上)	day1

3週毎 耐性になるまで

パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。
化療ベット予約: 3時間で登録

Regimen

day1		備考	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側③)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02024-1A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・Perjeta 投与時間 60分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 90分 で入力 02024-2A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・Perjeta 投与時間 30分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 30分 で入力	
※			
60分	側①パージェタ ()mg 1B		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30分			
90分	側②トラスツズマブ ()mg 1B		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30分	大塚蒸留水 100mL 1B		
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30分	側③生理食塩液 100mL 1B		
	デキサート注 6.6mg 1V		
	グラニセトロン注 1mg 1A		
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B		
	ドセタキセル注 ()mg		
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B		

02027	乳 癌	カドサイラ療法	申請科
			外科

H26.5 登録、H28.9 改訂 H30.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
カドサイラ (trastuzumab emtansine)	3.6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	day1

3週毎

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

day1			
全開 (5分) ※	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL カドサイラ ()mg	1B	
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	
備 考			
<p>※カドサイラは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>【レジメンシステム登録】 02027-1A カドサイラ療法 ・カドサイラ投与時間 90分で登録</p>			

02028	乳癌	エリブリン+トラスツズマブ療法	申請科
			外科

H26.8 承認 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

H 薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	Day1
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m ²	div(2~5分)	Day1、8

3週毎6サイクル(効果のある限り)

化療ベット予約: day1は1時間、day8は30分で登録

Regimen

	day1			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		
※				
90分	側①生理食塩液 250mL	1B		
or	トラスツズマブ ()mg			
30分	大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
5分	メイン②生理食塩液 50mL	1B		
	デキサート注 6.6mg	1V		
5分	側②生理食塩液 50 mL	1B		
	ハラヴェン静注 ()mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		
	day8			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		
	デキサート注 6.6mg	1V		
5分	側①生理食塩液 50 mL	1B		
	ハラヴェン静注 ()mg			
5分	側②生理食塩液 50mL	1B		

備考

※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

・エリブリン+トラスツズマブ療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を行う場合あり

・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。

・蒸留水は体重換算の量で登録
6mg/kg→0.286mL/kg
8mg/kg→0.381mL/kg

【レジメンシステム登録】

02028-1B

エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回

02028-2B

エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q以降

・Halaven 投与時間 5分 で登録

・トラスツズマブ投与時間

初回は 90分、2q以降は 30分 で登録

02029	乳 癌	Doc+CBDCA+トラスツズマブ (3W)療法	申請科
			外科

平成 26.9 登録 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (60min)	day1
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=6	div. (30~60min)	day1

3週毎

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

day1				備 考
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 ・カルボプラチンは 60 分で登録 ・トラスツズマブ投与時間 02029-1A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(8mg)(初回) 90 分で登録 02029-2A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(6mg)(2q 以降) 30 分で登録 ・2018 年 6 月委員会にて投与順序変更を承認 DTX→CBDCA→トラスツズマブから トラスツズマブ→DTX→CBDCA に変更 (乳癌診療ガイドライン参照)
※				
90分	側①生理食塩液 250mL	1B		
30分	トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
30分	側②生理食塩液 100mL デキサート注 6.6mg グラニセトロン注 1mg	1B 2V 1A		
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ()mg	1B		
30~60分	側④5%ブドウ糖液 250mL カルボプラチン ()mg	1B		
全開(5分)	側⑤生理食塩液50mL	1B		

02030	乳 癌	ペルツズマブ+トラスツズマブ +Paclitaxel	申請科
			外科

H27.2 登録、H27.7 改訂、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

H 薬 品 名	1 回 投 与 量	投 与 経 路・時 間	投 与 方 法 (1 ケ ー ル)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m ²	div. (60分)	day1、8、15

3週毎、耐性になるまで
パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。

(外来)化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8,15 は 2 時間で登録

Regimen

内服	day1・8・15	備 考
	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服	※1 パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。2 回目以降は 30 分で登録 ※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02030-1A Perjeta+トラスツズマブ+Paclitaxel(←以下 PHP) (初回)(1週目)(入院)・DEX6.6mg 02030-2A PHP(初回)(2 週目)(入院) DEX3.3mg 02030-3A PHP (DEX1.65mg)(入院) ・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用 02030-4A PHP(2q 以降)(1 週目)(入院) DEX1.65mg 02030-5A PHP(初回)(1 週目)(外来) DEX6.6mg 02030-6A PHP(初回)(2 週目)(外来) DEX3.3mg 02030-7A PHP (DEX1.65mg)(外来) ・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用 02030-8A PHP(2q 以降)(1 週目)(外来) DEX1.65mg ・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録 ・(外来)レスタミンは済み処方にて投与
点滴	day1	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	
60 分	側①生理食塩液 250mL 1B	
※1	パージェタ ()mg	
90 分	側②生理食塩液 250mL 1B	
※1	トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解して います)	
5 分	メイン②生理食塩液 50mL 1B ※2 デキサート注 ()mg	
30 分	ファモチジン注 20mg 1V	
60 分	側③生理食塩液 50mL 1B 側④5%ブドウ糖液 250mL 1B	
全開	パクリタキセル点滴静注液 ()mg	
(5 分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	
	day8・15	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1V ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V	
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B	
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg	
全開	側③生理食塩液 50mL 1B	
(5 分)		

02031	乳 癌	dose-denseEC 療法	申請科
			外科

H28.10 承認 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	90mg/m ²	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m ²	div.	day1
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)	3.6mg	皮下	化学療法終了 24~72 時間後

2 週毎

術前・術後 4クール

エピルビシン 900mg/m²まで

引き続きパクリタキセル療法を行うこともあり

化療ベット予約: 1時間で登録

Regimen

15分	day1 メイン①生理食塩液 100mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 1V	アプレピタント 125mg 化学療法前 アプレピタント 80mg day2,3 分1朝食後 デカドロン(0.5)8錠分2朝・昼 day2~4 ロラゼパム(0.5)2錠分2 day1 夕~day4 ハミン 3錠分3 day1 夕~day4
5分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ()mg	
30分	側②生理食塩液 100mL 1B エンドキサン注 ()mg	
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	
皮下	day2~4のうちに1回投与 ジーラスタ皮下注 3.6mg 1本	備 考 【レジメンシステム登録】 02031-1A dose-denseEC 療法 ・ペグフィルグラスチムの投与日はday2で登録 抗がん剤投与終了後、24時間以降3日後くらい(day2~4)までに皮下注射する。

02032

乳 癌

TC+トラスツズマブ(3w)

申請科

乳腺外科

H30.6 登録 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m ²	div. (15min以上)	day1
3週毎 4クール			
化療ベット予約: day1 は 2 時間 30 分で登録			
Regimen			
	day1		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL	1B	備 考 ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・TC+トラスツズマブ(3w)療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を計1年間になるように施行 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02032-1A TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02032-2A TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	
30分	側②生理食塩液 100mL デキサート注 6.6mg グラニセトロン注 1mg	1B 2V 1A	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ()mg	1B	
15分	側④生理食塩液 100mL エンドキサン注 ()mg	1B	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液50mL	1B	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02033	共通	乳癌	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0 ~ 1 (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
テセントリク (atezolizumab)	840 mg/body	div (初回 60min) (2回目以降 30min)	Day1,15	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m ²	div(30min)	Day1,8,15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎	化療ベット予約: day1,15 は 2 時間、 day8 は 1 時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy ×	日、Total Gy ×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
5分	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
※				
60分	側①テセントリク 840mg 1V 生理食塩液 250mL 1B			
5分	側②生理食塩液 50mL 1B			
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 () mL ※アブラキサン ()mg			
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30分	側①生理食塩液()mL アブラキサン()mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			
				備考 ※テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・基本的に前投薬は行わないが、サイクル1でinfusion reactionが発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)の前投薬を考慮。 ・テセントリクはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと) 【レジメンシステム登録】 02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1 のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録

